

令和3年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」小中野中学校区実践計画書

事務局 小中野中学校（担当職・氏名：教諭 十文字 英一）

1 主題 『確かな学力と、自尊感情・自己肯定感の育成をめざして』（6年次）

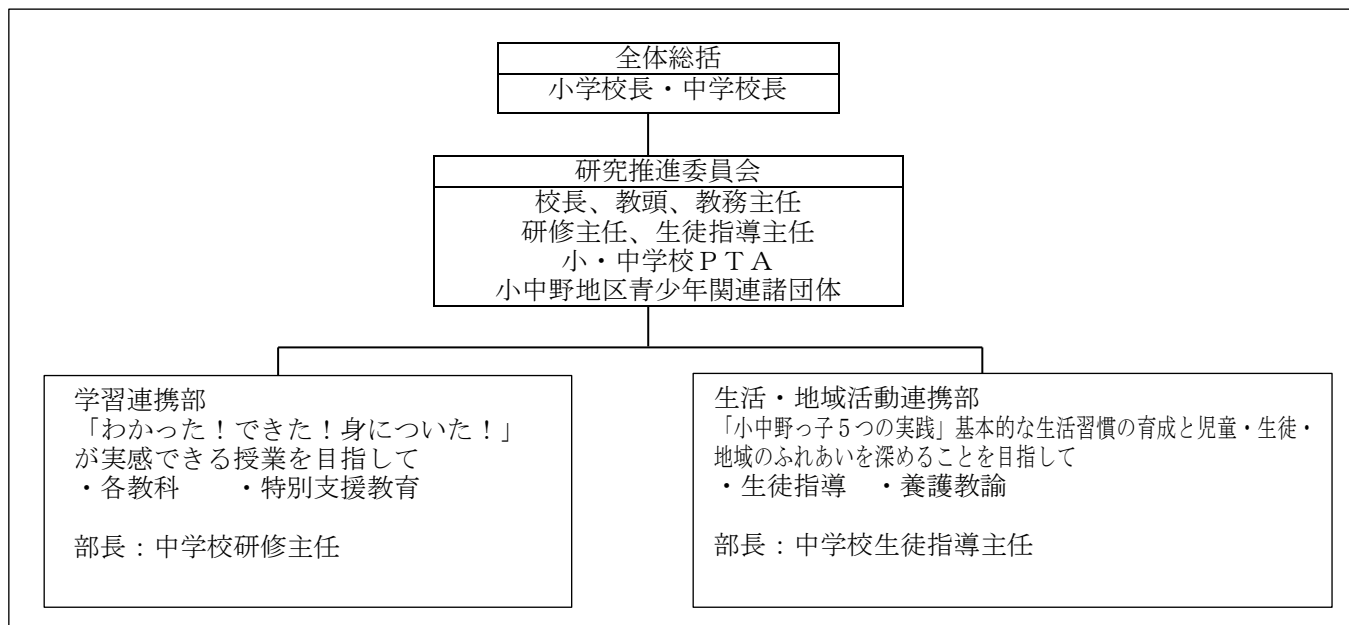
2 主題設定の理由

本中学校区は小学校1校、中学校1校で構成されている。そのため、9年間を通して共通の環境、同じ児童・生徒で学び続けることができる。このことは、児童・生徒が互いに理解し合えたり、地域の方々に継続的に見守られたりすることができるというよさがある。反面、人間関係が固定しやすく、一度人間関係が崩れるとなかなか修復できないという課題がある。転出入の児童・生徒も多いと言えず、新たな人間関係づくりの機会が少ない。基本的な生活習慣や学習習慣を確立できない児童・生徒は減ってきているが、学年が進むにつれて学力の二極化が進んでいる。

このような状況の中で、人間関係づくりやコミュニケーション能力を高めていくことを目指し、自尊感情を高め、児童・生徒のふれあいが深まるような支援を工夫していく必要がある。さらに、基本的な生活習慣や学習習慣の確立のために、小・中相互の実態を把握した上で教職員が共通の問題意識をもち、指導力の向上にも努める必要がある。これらの取組を保護者や地域にも積極的に発信し、協力してもらうことによって、学校・保護者・地域の三者で児童・生徒を育てていきたい。小・中学校が以上の取組について共通理解し、それぞれの役割を認識し、継続的・発展的に行うことによって、一人一人の子どもの成長・発達を図ることができると考え、本主題を設定した。

今年度は引き続き、日常生活の中で自己有用感を持たせる指導の工夫と、家庭学習の定着を図るための家庭学習ノート（コナノート）の活用、基本的な生活習慣確立のための「小中野っ子5つの実践」に取り組んでいく。また中学校の期末テスト週間に合わせて小学校も漢字・計算テスト週間を設定し、学習習慣の定着及び学習意欲の向上を図っていくと共に、コロナ下ではあるが、昨年度同様に中学校での授業参観及び授業体験は続けていきたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

小中野中学校区 重点指導項目

- 気持ちのよい返事やあいさつができる
- 話をしっかり聞き取ることができる
- 正しい言葉遣いで、はっきり話すことができる
- 家庭学習ができる

※小中野っ子5つの実践（令和2年度改訂）

- ①（小）8：30～9：30までには寝る （中）11：00までには寝る ②6：30までに起きる
- ③朝ごはんを食べる ④テレビ、ゲーム、パソコン、スマホ等の情報機器の使用は1日3時間以内
- ⑤悪口や陰口をやめ、使う言葉を正しく選んで相手に伝える